



写真で振り返る

2013年下関この1年

2013年、皆さんはどんな1年を過ごしましたか。
市の主な出来事を写真と共に振り返りました。

- ①「日本一のくじらのまち」を目指しての取り組み(一年)
- ②観光の取り組み「365日毎日楽しい下関」(一年)
- ③「川棚のクスの森」リニューアル(3月)
- ④下関商業高等学校講堂竣工(4月)
- ⑤みのりの丘ジビエセンター開所(4月)
- ⑥第1回下関市「海響アスリート」認定証授与式開催(5月)
- ⑦アミューズメント施設「はい!からっと横丁」オープン(9月)
- ⑧県道新下関停車場稗田線開通(10月)
- ⑨新消防庁舎竣工式・「火消鯨」開館(10月)
- ⑩中核市サミット2013in下関(11月)

くじら

「日本一のくじらのまち」
を目指しての取り組み

8月6日にくじらシンボルマークの愛称が「らーじくん」に決定した他、4月7日には調査捕鯨母船「日新丸」を含む第26次南極海鯨類捕獲調査船団が4年ぶりに下関港に入港。11月24日には、日本各地から鯨肉を使ったこだわりの料理・食品が集めた「ご当地くじらグルメフェア」も開かれた。



365日



観光の取り組み

「365日毎日楽しい下関」

2022年の観光客数1,000万人・宿泊客数100万人を目標に、イルミネーション水族館や、ロンドンバスイルミネーション展示、ふくちょうちんまつり、武蔵・小次郎の決闘寸劇着ぐるみバージョンなど、官民で新たなイベントを次々に創出した。



下関商業高等学校講堂竣工

老朽化の激しかった旧講堂を改築した新たな講堂が完成。4月9日に竣工式が開催され、新たな船出を祝った。

「川棚のクスの森」リニューアル

樹齢約1,000年の国指定天然記念物「川棚のクスの森」の樹木を保全・保護しつつ、新たに園路や大型バスも止められる駐車場などの整備を行い、3月24日にリニューアルオープンした。



みのりの丘ジビエセンター開所

市内で捕獲した有害獣(イノシシやシカ)の肉をジビエと称し、食用肉として処理する施設「みのりの丘ジビエセンター」を4月18日に開所。農林作物などの被害軽減や処理時の負担軽減につなげるとともに、ジビエの地域資源としての活用が期待される。

ジビエ

大観覧車

あるかぼーと東側地区にアミューズメント施設「はい!からっと横丁」オープン



9月14日、海峡が一望できる大観覧車をはじめ、アトラクションや飲食店舗など、家族で楽しめるスポットがオープン。7月26日には先駆けてスターバックスコヒー下関あるかぼーと店がオープンし、にぎわいを見せる。



▲「しものせきマスコットキャラクター選手権」の開催や、新たなキャラクターの誕生など、下関をキャラクターが盛り上げた一年でもあった。

第1回下関市「海響アスリート」認定証授与式開催

5月30日、下関市「海響アスリート」認定制度の第1回認定証授与式が開催され、30人が認定された。

対象：平成24年10月1日以降開催の次の3つの大会の部をそれぞれ完歩・完走した方

- ▷ 維新・海峡ウォーク(約30^{キロ})
- ▷ ツール・ド・しものせき(ロングコース約130^{キロ})
- ▷ 下関海響マラソン(フルマラソン)



県道新下関停車場榊田線 開通

川中土地区画整理事業で整備を行い、10月16日に新下関駅と国道191号線を結ぶ県道の供用を開始した。



中核市サミット2013in下関

年に1度、全国の中核市市長が一堂に会する中核市サミットを、11月7日に下関市で開催した。諸課題を討議し、その成果を全国に発信した。



新消防庁舎竣工式・「火消鯨」開館

下関市消防局・中央消防署の新庁舎の運用と、下関市・美祿市消防指令業務共同運用を10月10日に開始。10月25日に竣工式・共同運用開始式を挙行了。新消防庁舎内には体験型学習施設「火消鯨」が開館。防火・防災に関する知識や、いざという時の対処方法などを身に付けるための体験ができる。



消防